



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年4月27日

上場会社名 日本精線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5659 URL <http://www.n-seisen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新貝 元

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長澤 修一

TEL 06-6222-5432

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	34,910	9.9	1,926	45.8	1,999	45.6	1,395	47.1
2019年3月期	38,760	3.5	3,554	11.2	3,675	8.7	2,635	6.4

(注) 包括利益 2020年3月期 1,315百万円 (52.1%) 2019年3月期 2,747百万円 (9.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	227.48		4.6	4.7	5.5
2019年3月期	429.65		9.0	8.7	9.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	43,315	31,446	71.7	5,063.77
2019年3月期	42,227	30,467	71.5	4,925.14

(参考) 自己資本 2020年3月期 31,058百万円 2019年3月期 30,209百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,814	2,244	335	11,766
2019年3月期	2,379	3,121	1,118	11,233

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		70.00		60.00	130.00	797	30.3	2.7
2020年3月期		35.00		45.00	80.00	490	35.2	1.6
2021年3月期(予想)		35.00						

(注) 2021年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	16,000	7.0	800	5.2	800	0.6	600	7.4	97.82

(注) 2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で通期の合理的な業績予想が困難であるため、第2四半期(累計)の業績予想のみを記載しております。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	6,492,293 株	2019年3月期	6,492,293 株
期末自己株式数	2020年3月期	358,747 株	2019年3月期	358,499 株
期中平均株式数	2020年3月期	6,133,687 株	2019年3月期	6,133,842 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	32,009	11.2	1,644	48.9	1,656	49.2	1,144	50.1
2019年3月期	36,043	2.4	3,221	13.1	3,257	12.1	2,294	10.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	186.55	
2019年3月期	374.04	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	39,280		28,646		72.9		4,670.46	
2019年3月期	38,953		28,145		72.3		4,588.59	

(参考) 自己資本 2020年3月期 28,646百万円 2019年3月期 28,145百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

当連結会計年度より、連結決算の開示内容の充実及びグループ経営の強化を図るため、前連結会計年度において非連結子会社であった大同不銹鋼（大連）有限公司、韓国ナスロン株式会社及び日精テクノ株式会社を連結の範囲に含めております。報告セグメントについては、日精テクノ株式会社は「日本」、大同不銹鋼（大連）有限公司及び韓国ナスロン株式会社は「中国・韓国」に含めております。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社及び連結子会社（以下「当社グループ」という。）の経営環境は、米中貿易摩擦による中国・欧州経済の減速や中東の地政学的リスクのほか、国内での台風被害や消費税増税が響き、先行き不透明感が強い状況となりました。当社グループの主力製品であるステンレス鋼線を巡る環境については、顧客の需要減や在庫調整により販売数量は前年度から減少傾向にあり、さらに下期に入って自動車関連の需要が減速しました。中国や韓国のステンレス鋼線メーカーとの競争も激化し、業界全体の出荷数量は前期比減となりました。また、LMEニッケル価格が、インドネシアの禁輸措置などによりポンド当たり8ドル超に価格高騰する局面もありましたが、期末にかけては世界経済の不透明感の拡がりとともに、当期末は5ドル台前半まで値を下げました。金属繊維（ナスロン）についても、化合繊維向けなどの一般汎用製品については競争が激しくなっております。一方、半導体関連業界向け超精密ガスフィルター製品については、前年度からの在庫調整の影響が上半期は残りましたが、年度後半からは第5世代移動通信システム（5G）向けなどの半導体生産が回復基調に転じました。

このような状況のなか、当社グループでは連結経常利益55億円、連結売上高経常利益率（ROS）10%以上、連結総資産経常利益率（ROA）10%以上などを経営目標とする『第14次中期計画（NSR20）』（最終年度2021年3月期）の達成に向け、収益の一段の向上に取り組んで参りました。

売上高につきましては、ステンレス鋼線部門は、自動車生産・販売の減少、建築需要の低迷などにより、月平均の販売数量が3,256 tと大幅に減少（前期比200 t/月減）しました。金属繊維部門では、超精密ガスフィルター（ナスクリン）が、年後半より在庫調整から急反転して売上を伸ばしましたが、上半期の減収を補うには至りませんでした。結果として、通期の売上高は、349億10百万円（前期比9.9%減）と前期比減収を余儀なくされました。

損益につきましては、コスト削減活動の徹底と高機能・独自製品の売上強化により採算改善などに努めましたが、営業利益19億26百万円（同45.8%減）、経常利益19億99百万円（同45.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益13億95百万円（同47.1%減）となりました。

なお、2020年3月期においては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大が当社の業績に与える影響は、いまだ軽微に留まっています。

製品別の売上状況は、次のとおりであります。

[ステンレス鋼線]

前年度に高水準の受注・出荷の実績を上げた極細線の売上高が、反動の在庫調整を強いられました。また、建築用途・自動車用途の鋳螺用材が大幅減少し、ばね用材も流通での在庫調整の影響を受けました。需給面に加えて、安価な中国・韓国材の攻勢が加わり、ステンレス鋼線の売上高は293億78百万円（前期比8.8%減）となりました。

海外現地法人であるTHAI SEISEN CO., LTD. および大同不銹鋼（大連）有限公司についても、ステンレス鋼線の販売数量の減少を強いられ、減収となりました。

[金属繊維（ナスロン）]

ナスロンフィルターは、ポリエステルフィルム用途向け補充品が底堅く推移したものの、競争環境の厳しい化合繊維用途向け製品の減収を補うに至りませんでした。超精密ガスフィルター（ナスクリン）については、スマホ需要の減少により半導体関連投資が凍結され上半期は大幅減収を余儀なくされましたが、年後半には需給環境が好転したことに伴い設備投資も再開されました。結果として、通期では売上高が55億31百万円（前期比15.3%減）となりました。

海外現地法人である耐素龍精密濾機（常熟）有限公司は、中国国内向けが好調に推移したことなどにより売上高は前期比増収となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は433億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億87百万円増加しました。流動資産は現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ7億81百万円増加しました。固定資産は有形固定資産が増加したことなどにより、3億6百万円増加しました。

負債は118億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加しました。流動負債は未払法人税等や短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ3億37百万円減少しました。固定負債は長期借入金が増加したことなどにより4億46百万円増加しました。

純資産は利益剰余金が増加したことなどにより314億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億79百万円増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は117億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億32百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは28億14百万円の収入となり、前期に比べ4億35百万円増加しました。これは法人税等支払額が減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは22億44百万円の支出となり、前期に比べ8億77百万円減少しました。これは有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金による収入があるも配当金の支払いなどにより3億35百万円の支出となりました。

(キャッシュ・フロー指標)

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりです。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	69.2	67.4	71.5	71.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.8	72.0	47.4	41.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.3	0.2	0.2	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	394.3	359.8	326.1	379.8

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により計算しております。

3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

通期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な拡大による経済活動の停滞や、サプライチェーン寸断による製品供給の遅延リスクなど、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算出することが困難なことから、2021年3月期の通期連結業績予想及び期末配当につきましては、未定といたします。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

上半期の連結業績につきましては、売上高は160億円、営業利益8億円、経常利益8億円、親会社株主に帰属する当期純利益は6億円を予想しております。

第2四半期末の配当については、上半期の当期純利益の予想値に鑑み35円を予定しています。

(注) 当予想は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について、現時点において当社が把握している情報をもとに算出しております。具体的には、ステンレス鋼線については、2020年上半期の月平均数量2,660 t（前年同期比20%減）、売上高131億74百万円（前年同期比10%減）を見込んでおります。数量減の前提として、自動車関連向け売上高を概ね50%減と設定しております。ナスロンフィルター・産業資材については、2020年上半期の売上高12億84百万円（前年同期比25.4%減）を見込んでおります。半導体関連向けの超精密ガスフィルター(ナスクリーン)については、上半期までは足下の水準が続くものと想定し売上高15億42百万円（前年同期比82.2%増）を前提としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2020年上半期（予想）	160億円	8億円	8億円	6億円
2019年上半期（実績）	172億3百万円	7億60百万円	7億94百万円	5億58百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準について、期間比較可能性を考慮し日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、今後の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,338	11,980
受取手形及び売掛金	7,968	7,769
商品及び製品	2,274	2,090
仕掛品	3,099	3,328
原材料及び貯蔵品	1,441	1,709
その他	125	151
流動資産合計	26,247	27,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,783	13,140
減価償却累計額	△8,187	△8,491
建物及び構築物 (純額)	4,595	4,649
機械装置及び運搬具	29,047	29,657
減価償却累計額	△23,043	△23,799
機械装置及び運搬具 (純額)	6,004	5,857
土地	1,595	1,628
リース資産	14	14
減価償却累計額	△2	△5
リース資産 (純額)	12	9
建設仮勘定	404	1,290
その他	2,201	2,284
減価償却累計額	△1,635	△1,732
その他 (純額)	566	551
有形固定資産合計	13,178	13,986
無形固定資産		
ソフトウェア	315	229
ソフトウェア仮勘定	-	50
その他	47	39
無形固定資産合計	362	319
投資その他の資産		
投資有価証券	468	245
関係会社出資金	192	-
繰延税金資産	1,541	1,505
その他	236	228
投資その他の資産合計	2,438	1,979
固定資産合計	15,979	16,285
資産合計	42,227	43,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,651	4,972
短期借入金	563	437
リース債務	2	2
未払法人税等	492	64
未払消費税等	16	224
賞与引当金	663	549
役員賞与引当金	29	23
その他	950	759
流動負債合計	7,370	7,033
固定負債		
長期借入金	-	372
リース債務	10	7
役員退職慰労引当金	44	47
環境対策引当金	-	1
退職給付に係る負債	4,321	4,394
その他	12	12
固定負債合計	4,388	4,835
負債合計	11,759	11,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,442	5,442
利益剰余金	20,663	21,575
自己株式	△847	△847
株主資本合計	30,259	31,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	△33
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	169	115
退職給付に係る調整累計額	△245	△193
その他の包括利益累計額合計	△49	△111
非支配株主持分	257	387
純資産合計	30,467	31,446
負債純資産合計	42,227	43,315

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	38,760	34,910
売上原価	31,848	29,691
売上総利益	6,912	5,218
販売費及び一般管理費	3,357	3,291
営業利益	3,554	1,926
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	29	13
仕入割引	20	17
受取補償金	30	24
為替差益	80	41
環境対策引当金戻入益	1	-
その他	30	24
営業外収益合計	198	132
営業外費用		
支払利息	7	6
売上割引	20	18
支払補償費	8	16
固定資産除却損	33	13
環境対策引当金繰入額	-	1
その他	6	2
営業外費用合計	77	59
経常利益	3,675	1,999
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	28	-
特別利益合計	28	0
特別損失		
投資有価証券売却損	38	-
特別損失合計	38	-
税金等調整前当期純利益	3,665	2,000
法人税、住民税及び事業税	1,080	537
法人税等調整額	△78	35
法人税等合計	1,002	572
当期純利益	2,663	1,427
非支配株主に帰属する当期純利益	27	31
親会社株主に帰属する当期純利益	2,635	1,395

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,663	1,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	△60
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	76	△103
退職給付に係る調整額	36	52
その他の包括利益合計	84	△111
包括利益	2,747	1,315
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,719	1,292
非支配株主に係る包括利益	27	22

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	5,442	18,887	△846	28,482
当期変動額					
剰余金の配当			△858		△858
親会社株主に帰属する当期純利益			2,635		2,635
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	1,776	△0	1,776
当期末残高	5,000	5,442	20,663	△847	30,259

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	55	0	93	△282	△133	230	28,579
当期変動額							
剰余金の配当							△858
親会社株主に帰属する当期純利益							2,635
自己株式の取得							△0
連結範囲の変動							-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△28	△0	75	36	83	27	111
当期変動額合計	△28	△0	75	36	83	27	1,887
当期末残高	27	△0	169	△245	△49	257	30,467

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	5,442	20,663	△847	30,259
当期変動額					
剰余金の配当			△582		△582
親会社株主に帰属する当期純利益			1,395		1,395
自己株式の取得				△0	△0
連結範囲の変動			99		99
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	911	△0	911
当期末残高	5,000	5,442	21,575	△847	31,170

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	27	△0	169	△245	△49	257	30,467
当期変動額							
剰余金の配当							△582
親会社株主に帰属する当期純利益							1,395
自己株式の取得							△0
連結範囲の変動							99
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△60	0	△54	52	△62	130	68
当期変動額合計	△60	0	△54	52	△62	130	979
当期末残高	△33	0	115	△193	△111	387	31,446

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,665	2,000
減価償却費	1,286	1,383
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	207	149
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31	△122
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△6
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△19	1
受取利息及び受取配当金	△34	△24
支払利息	7	6
為替差損益 (△は益)	△55	△41
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	33	13
関係会社株式売却損益 (△は益)	△28	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	38	-
売上債権の増減額 (△は増加)	235	317
前受金の増減額 (△は減少)	26	△7
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,078	△246
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	46	△4
仕入債務の増減額 (△は減少)	△461	245
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△36	203
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	0	△124
その他	1	△1
小計	3,863	3,745
利息及び配当金の受取額	34	24
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△1,511	△948
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,379	2,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17	△180
定期預金の払戻による収入	-	100
有形固定資産の取得による支出	△3,062	△2,093
有形固定資産の売却による収入	0	1
無形固定資産の取得による支出	△92	△69
投資有価証券の売却による収入	47	-
関係会社株式の売却による収入	34	-
その他	△30	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,121	△2,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20	△10
長期借入れによる収入	-	550
長期借入金の返済による支出	△280	△290
リース債務の返済による支出	△2	△2
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△857	△581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,118	△335
現金及び現金同等物に係る換算差額	82	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,779	243
現金及び現金同等物の期首残高	13,013	11,233
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	289
現金及び現金同等物の期末残高	11,233	11,766

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会および重要事項を審議する経営会議において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に伸線加工事業であるステンレス鋼線・金属繊維を製造販売しており、国内においては当社が、海外においては当社及び連結子会社が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製造・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「タイ」、「中国・韓国」の3つを報告セグメントとしております。

なお、当連結会計年度より、前連結会計年度末において非連結子会社であった韓国現地法人の韓国ナスロン株式会社を連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントを従来の「中国」から「中国・韓国」に変更しております。前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の売上高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国・韓国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,964	2,243	552	38,760	—	38,760
セグメント間の内部売上高又は 振替高	79	2,317	31	2,428	△2,428	—
計	36,043	4,561	583	41,188	△2,428	38,760
セグメント利益	3,263	271	69	3,604	△49	3,554
セグメント資産	37,693	4,242	590	42,526	△299	42,227
その他の項目						
減価償却費	1,107	170	8	1,286	△0	1,286
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	2,744	296	34	3,075	△10	3,064

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	タイ	中国・韓国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,891	2,117	901	34,910	-	34,910
セグメント間の内部売上高又は 振替高	118	1,970	199	2,288	△2,288	-
計	32,009	4,087	1,101	37,198	△2,288	34,910
セグメント利益	1,703	170	119	1,994	△67	1,926
セグメント資産	37,786	4,659	1,194	43,639	△324	43,315
その他の項目						
減価償却費	1,169	192	22	1,383	△0	1,383
有形固定資産及び無形固定資産 の増加額	2,164	251	102	2,517	△3	2,514

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△0	△13
全社費用※	△49	△54
合計	△49	△67

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2)セグメント資産

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△309	△334
全社資産※	10	10
合計	△299	△324

※ 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社資産であります。

(3)その他の項目

①減価償却費の調整額（前連結会計年度及び当連結会計年度）は、親会社本社資産の減価償却費であります。

②有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	4,925.14円	1株当たり純資産額	5,063.77円
1株当たり当期純利益	429.65円	1株当たり当期純利益	227.48円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,635	1,395
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益 (百万円)	2,635	1,395
期中平均株式数 (千株)	6,133	6,133

(重要な後発事象)

該当事項はありません。